

第 186 回 戦後アフリカ史②

1 中部アフリカ諸国

☆ () (1960~2024年現在) ※1971~1997年の国名はザイール

◆ () (在任 1960~1961年)

- 1960年、() から独立したが、直後に暴動が起こった。
→ベルギーは、鉱物資源の豊富なカタンガ州の分離独立をねらってこれに介入した。
→初代首相ルムンバが殺され、() と呼ばれる内戦状態となった。
- 1997年、コンゴ民主共和国となったが、大統領争いから再び内戦が発生した。

☆ () (1962~2024年現在)

- 旧ドイツ領で、第一次大戦後にベルギー領となり、1962年に独立した。
- 1990年代前半、多数派のフツ族が少数派のツチ族を大虐殺する、アフリカ史上最悪の() となった。



捕えられたルムンバ

初代首相のルムンバ(右端)は、クーデタによって捕えられた。兵士によってリンチを受けた後、同志とともに処刑された。



ルワンダ大虐殺

わずか100日間で、国民の10人に1人の80万人以上が虐殺されたとされている。私もリアルタイムでニュースを聞き、衝撃を受けた。



映画「ホテル=ルワンダ」

ルワンダの大虐殺を、実話をもとに描いた作品。当初は日本での公開予定はなかったが、署名活動によって公開が実現した。

2 南部アフリカ諸国

☆ () (1910~1961年国名変更~2024年現在)

- 1910年、イギリスから独立し、1961年にイギリス連邦からも離脱した。
- 少数の白人が多数の有色人種(主に黒人)を支配する() と呼ばれる人種差別的な政策をとっていた。
→これに反対する() が結成されたが、弾圧された。

◆ () (在任 1989~1994年)

- 黒人との対話をすすめ、1991年、() した。

◆ () (在任 1994~1999年)

- アパルトヘイト撤廃後の選挙で、アフリカ民族会議が過半数を獲得した。
→黒人解放運動家のマンデラが、初の黒人大統領となった。



アパルトヘイト

アパルトヘイト時代の男性トイレ。「WHITES ONLY」、つまり「白人専用」と書いてある。南アフリカはこの政策のため、オリンピックに参加できなかった。



デクラーク

おそらくブール人。アパルトヘイトの撤廃を実現した大統領。マンデラ政権では副大統領を務めた。1993年には2人でノーベル平和賞を受賞した。



マンデラ

アフリカ民族会議の指導者。逮捕されて28年を獄中で過ごした。1993年にノーベル平和賞を受賞した。1994年には黒人初の大統領となった。

☆ () (1965~1980年国名変更~2024年現在)

- 1965年、イギリスから白人政権のもとで独立した。
→1980年、黒人勢力が白人政権を倒し、国名を()に変更した。
- 独裁とインフレで経済が崩壊し、国民の生活は極度に苦しんでいる。

☆ () (1975~2024年現在)

- 1975年、ポルトガルから独立したが、ローデシアの介入もあり内戦が続いた。

☆ () (1975~2024年現在)

- 1975年、本国ポルトガルの独裁体制崩壊により独立したが、内戦が続いた。

☆ () (1990~2024年現在)

- 旧ドイツの植民地であったが、1949年以降、南アフリカ共和国が併合していた。
→南西アフリカ人民機構(SWAPO)の独立運動により、1990年に独立を果たした。

